

## 江戸東京たてもの園(1)

事業名	会期	概要
東京150年記念 「看板建築展」	平成30年3月20日～ 7月8日	関東大震災からの復興期、東京が近代的な街並みに変わるなか、各所に数多くの商店が新築されました。その中で、平らな表面に銅板やタイルなどを張り、 <b>正面から見るとまるで一枚の看板のような「看板建築」</b> が登場しました。本展では、独自の景観を形作った「看板建築」について、当園に <b>移築、復元、公開している6棟</b> をはじめ、各地の例を取り上げます。その成立と展開を通じ、 <b>東京独自の建築文化</b> を紹介します。
こどもの日イベント	平成30年5月4日、5日	<b>ゴールデンウィーク期間の2日間</b> 、子供たちが昔の暮らしの様子を体験できるイベントを開催します。商店建築が建ち並ぶ東ゾーンで、おつかいメモをもって商店を巡る「 <b>買い物体験</b> 」を行うほか、ベーゴマ、折り紙、風車作りなど、園内全体で <b>昔の遊び</b> を存分にお楽しみいただけます。
七夕のつどい	平成30年7月7日、8日	東京の各地で見られた、七夕の情景を再現するイベントです。園内各所の <b>七夕飾り</b> に、願い事を書き入れた短冊を飾り、七夕展示にご参加いただけます。復元建造物内では <b>盆飾り</b> などを展示し、 <b>初夏の伝統的な行事</b> を体験いただけます。
東京150年記念 「東京—都市とたてもの、ひと」展	平成30年7月24日～ 平成31年1月20日	<b>東京誕生から150年</b> を記念し、本館の東京都江戸東京博物館と連動して実施する展覧会です。東京に建てられた様々な建造物をおして <b>都市の変遷</b> を紹介し、 <b>街並みや暮らしの変化</b> を概観します。また、失われた建物の特徴や魅力、現代に受け継がれる <b>歴史的建造物の保存や活用</b> についても取り上げ、 <b>都市東京の150年</b> において建築が果たした役割を明らかにします。
夜間特別開園 下町夕涼み	平成30年8月4日、5日  20時30分まで特別開園	<b>開園時間を延長</b> し、夏の夕べの過ごし方を体感していただけるイベントです。「下町中通り」では復元建造物の店頭の様子を再現。灯りのともる通りには幻想的な街並みが広がり、広場に <b>盆踊り</b> の櫓を組み、 <b>夏祭りの風情</b> を感じることができます。民家では、夕べの涼やかな風を感じながら静かに過ごしていただけます。
体験！発見！職人さん	平成30年10月27日、 28日	<b>体験と鑑賞(発見)</b> を通し、 <b>手仕事の世界</b> への理解を深めるイベントです。体験型のプログラムとして、建造物の修復や補修に係わる <b>職人から建築技術を学ぶワークショップ</b> を開催します。また、鑑賞型のプログラムとして、 <b>東京の伝統工芸士による製作の実演</b> などを実施し、職人の手わざを間近にご覧いただけます。

※この内容は平成30年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。

詳細は江戸東京たてもの園広報担当までお問い合わせください。

※「東京150年記念」について

平成30年は、江戸から東京への改称、東京府開設から150年の節目の年です。東京都では、これを記念し、東京の魅力を外内外にPRする「Old meets New 東京150年」事業を展開しています。

### ＜お問い合わせ先＞

江戸東京たてもの園

〒184-0005 小金井市桜町3-7-1(都立小金井公園内)

電話 042-388-3300 FAX 042-388-1711

<http://www.tatemonoen.jp/>

※ 開園時間:9時30分～17時30分(10月～3月は16時30分まで)

※ 休園日:毎月曜日(祝日・振替休日の場合は開園、翌日休園)、年末年始

## 江戸東京たてもの園(2)

事業名	会期	概要
夜間特別開園 紅葉とたてものライト アップ	平成30年11月23日～ 25日  20時まで特別開園	秋の夜長、紅葉が深まる時季に合わせ、特別に <b>開園時間を延長</b> して行うイベントです。園内で美しく色付いた木々と、そこにたたずむ歴史的建造物を優しく柔らかな光で照らし出し、普段では味わえない <b>夜のたてもの園を散策</b> していただけます。民家の <b>囲炉裏</b> で暖をとる体験や、行灯やランプ、ガス灯など、 <b>昔のあかり</b> を学べる講座をはじめ、さまざまなプログラムもお楽しみいただけます。
たてもの園でお正月 「江戸の正月を楽しもう」	平成31年1月2日、3日	正月2日、3日に <b>入園料無料の特別開園</b> を行い、皆様をお迎えます。園内の復元建造物に <b>しめ飾りや門松</b> を立て、新年にふさわしい <b>伝統芸能</b> をお楽しみいただけます。また、 <b>江戸時代より庶民に親しまれていた宝船の絵</b> （印刷物）を、先着順でお配りします。
たてもの園でお正月 「正月の昔あそび」	平成31年1月5日、6日	新年最初の休日にあたる5日、6日に開催するイベントです。 <b>羽根つきや独楽まわし</b> などの外遊びや、 <b>かるた、双六、福笑い</b> などの室内遊び、 <b>書初め</b> 等のほか、お囃子の演奏等、 <b>正月に行われてきた伝統的な行事</b> を体験することができます。お着物でお越しの方は割引でご入園いただけます。
武蔵野の歴史と考古学 —江戸東京たてもの園 収蔵品展	平成31年2月5日～ 5月12日	1993年3月に江戸東京たてもの園が開園する以前、1954（昭和29）年から93年（平成5）年まで、この地には、武蔵野の歴史と民俗をテーマにした「 <b>武蔵野郷土館</b> 」がありました。本展では、武蔵野郷土館から引き継いだ、 <b>国指定重要文化財「土製耳飾</b> 」（調布市下布田遺跡出土）をはじめ、原始古代から近現代までのコレクションの一部を公開し、地域の歴史をひも解きます。
たてもの園フェスティバル	平成31年3月21日～ 3月28日	<b>春分の日から当園の開園記念日にあたる3月28日までの8日間</b> 、子供から大人まで楽しめるイベントを開催します。 <b>園内を巡るスタンプラリーやワークショップ</b> の他、 <b>建物について楽しく学べる「けんちく体操」</b> やアーティストによるパフォーマンスを実施します。桜のつぼみがふくらみ始める時季に、春の訪れを感じていただけます。

※この内容は平成30年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。  
詳細は江戸東京たてもの園広報担当までお問い合わせください。

### <お問い合わせ先>

江戸東京たてもの園  
〒184-0005 小金井市桜町3-7-1(都立小金井公園内)  
電話 042-388-3300 FAX 042-388-1711  
<http://www.tatemonoen.jp/>  
※ 開園時間:9時30分～17時30分(10月～3月は16時30分まで)  
※ 休園日:毎月曜日(祝日・振替休日の場合は開園、翌日休園)、年末年始